

# 事業実施報告書

## 法人名 認定特定非営利活動法人熊谷市ほたるを保護する会

事業名	ホタルの里の子育て事業
助成枠の種類	特定分野事業ネーミング枠 (金紋世界鷹 みどりと川の再生環境保全事業)
1. 事業の目的	ホタルの里の子育て世代が活用できる里山整備の調査 (1) 現在、下刈り等実施している里山を地権者から本会に 3,500 m <sup>2</sup> の土地の寄贈申し出があった。本会は来年度から、この土地を子育て世代が積極的に活用できるホタル里山に整備する調査を行う。 (2) この事業を通して、若い世代に里山保全の意識を高めていきたい。
2. 事業で取り組んだ地域や社会の課題	(1) 子育て世代が親子で踏み入ることのできる里山が必要である。 (2) 子供が親と一緒に里山整備のイベントに参加し、若い後継者を育て環境保全活動を進めていく必要がある。
3. 取り組んだ事業の具体的な内容・実施結果	(1) アンケート調査はアンケートを近隣の保育園や幼稚園、こども園、小学校(1~2年生)の11施設の保護者に配布・回収を依頼した。その他に本会会員や市役所の展示会見学者、自然環境団体、青年会議所のメンバー等を実施した。 約1,000名に実施し、回収率は約40%であった。 (2) アンケート分析会は豊富な資料(別添資料)を分析して、これから計画を進めるのに活かすことができる。(7名出席) (3) 先進施設視察は埼玉県環境科学国際センターでは昔の自然環境のままの風景を見ることができた。また北本雑木林の会の活動は30年前から雑木林の保全活動を行っている団体で北本市との関係など会の運営やイベント募集等吸収することが多かった。両施設とも担当者が下見を重ね、打ち合せを行ったので良い視察ができた。(参加者20名) (4) セミナーはアンケート分析や先進施設視察、里山の現場測量に基づく発表、昔の里山の様子等の発表等様々な意見発表がありホタルイベントの講演・発表会につながられた。 (参加者22名) (5) 講演・発表会のイベントはパンフレットを早い時期から配布したところ「この企画はいい」と初めて会った幼稚園のPTA会長さんも褒めてくれた。始めのうちは非常に感触が良かった。

	<p>ところが、コロナの感染者数が日に日に増えました。辛うじて、開会にこぎつけ、熊谷市長をお招きして感染対策を行い計画通り実施できて良かった。（参加者約 70 名）</p> <table border="1" data-bbox="472 336 1326 779"> <thead> <tr> <th>時期</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>7月</td> <td>視察地視察の下見、三宅講師と打合せ</td> </tr> <tr> <td>8月</td> <td>アンケート作成</td> </tr> <tr> <td>9月</td> <td>アンケート配布</td> </tr> <tr> <td>10月</td> <td>アンケート集計</td> </tr> <tr> <td>11月</td> <td>アンケート分析会開催</td> </tr> <tr> <td>12月</td> <td>先進施設視察 セミナー開催</td> </tr> <tr> <td>1月</td> <td>イベント（講演・発表会）実施</td> </tr> <tr> <td>2月</td> <td>来年度からの実施計画作成</td> </tr> </tbody> </table> <p>○広報実績について</p> <p>(1) アンケート用紙（約 1,000 部）の表紙にスポンサーの企業名を掲載しアンケートを実施した。（別添資料）</p> <p>(2) 「ホテルの里山講演会」のイベントチラシに企業名を掲載しアンケート調査の配布者全員と市役所関係機関、自然関係団体等約 2,000 部配布した。（別添資料）</p>	時期	内容	7月	視察地視察の下見、三宅講師と打合せ	8月	アンケート作成	9月	アンケート配布	10月	アンケート集計	11月	アンケート分析会開催	12月	先進施設視察 セミナー開催	1月	イベント（講演・発表会）実施	2月	来年度からの実施計画作成
時期	内容																		
7月	視察地視察の下見、三宅講師と打合せ																		
8月	アンケート作成																		
9月	アンケート配布																		
10月	アンケート集計																		
11月	アンケート分析会開催																		
12月	先進施設視察 セミナー開催																		
1月	イベント（講演・発表会）実施																		
2月	来年度からの実施計画作成																		
<p>4. 事業実施により達成した成果の具体的な内容</p>	<p>1 アンケートのご協力をいただいた保育園や幼稚園から来年度ホテル講座の依頼が 2 件あった。他の施設にも積極的にこちらから働きかけてホテル講座を実施し、里山保全整備の理解者増やしていきたい。</p> <p>2 寄贈地のイメージ図ができ、今後の段取りが立てやすくなり、来年度から実施計画を作成した。</p>																		
<p>5. 費用面での工夫</p>	<p>アンケート調査用紙やイベントの講演会のチラシ等を注目して頂くため、カラー印刷で作成したのでトナー代が多額になってしまった。人件費や交通費の支出を抑えて、ほぼ予算内に収まった。</p> <p>今回アンケートの配布や回収に近隣の施設の協力もあり、スムーズに運べました。これはホテル保護活動で環境整備に貢献している評価が高かったからだと思う。</p>																		
<p>6. 地域社会への還元について</p>	<p>昨年末、寄贈地は本会名義に登録された。子供たちに愛される里山の学習拠点にしていきたい。</p> <p>地元自治会とも連携し、地権者としての責任もはたしていきたい。地域の要望を聞きながら非常時には防災の拠点の役割もはたせれる様にしていきたい。</p>																		
<p>7. 来年度以降どう事業を継続し</p>	<p>本年度はこの里山の樹木を交通障害等にならない様、道路に面した樹木を伐採した。（寄居林業事務所に届け出をした）</p>																		

発展させていく  
か

来年度は、今回の助成金を頂きまとめたイメージ図を基にして回遊できる道やベンチを作る。また、榎木を育て植樹をして林を再生させていく計画である。

来年度以降、このホタル里山イベントは親子で参加していただき、この場所が愛着を持てる場所にしていきたい。そして、里山整備の大切さを学び、協力者を増やし里山を守っていく。

ホタル飛び交う自然豊かな地域社会を繋いでいく様に地域ぐるみの事業を展開していく。その際、今回の「ホタルの里の子育て事業」の調査は生きてくる。